

特251

910

講

演

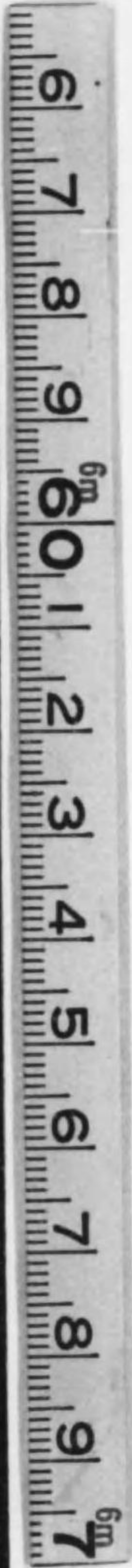
第四輯

南洋事情

乙

5/9

135



始



大同貿易株式會社專務取締役
宮崎彦一郎氏述

財團法人
日本貿易振興協會

特251
910



同貿易振興協会の事務取締役、當協會理事宮崎彦一郎氏の南洋事情に關する講演の記録に、題して御校閲御加筆を煩はしたるものゝ収録である。
最近の南方動向に對應して特に好箇の資料として各位の御參考とする次第である。

昭和十一年五月

發行所寄贈本



財團 日本貿易振興協會



市場調査の命を受けて昨年十一月から、四ヶ月半にわたつて比律賓、泰國、佛印を一巡して來た。蘭印と海峽殖民地は事情により渡航を見合せる事にした。以下旅行地の事情を申し述べるが、専門にわたる事並に時局に關する事を避け、所謂道聽途説の一般事情を常識の御參考に供する事とする。

比 律 賓

先づ旅行の順序に従ひ比律賓の事情から述べる事とする。

比律賓は大小七千餘の島から成り、面積約三十萬平方キロ、全日本の面積約六十七萬五千平方キロの半分以下に當り、人口は約千六百萬である。十九世紀末迄の四百年間はスペインの統治下にあつて其の壓政に苦んで居たが、一八八八年米西戰爭の結果、米國が二千萬弗で買收して以來米國の領土となつたものである。其後かねて比島民衆の熱望してゐた比島獨立法案が米國議會を通過し、一九三五年十一月憲法を制定して、ケソン氏が初代大統領に就任し、十ヶ年の準備期間をおいて一九四六年七月四日を以て完全に獨立する事になつてゐる。

産業及び物産としては砂糖の年産百萬觔見當を大宗とし、殆んど全部米國に輸出され輸出に於ても最も重要な部分を占めてゐる。その他コブラ、椰子油、麻、煙草等の農産物を産出してゐる。鑛産物は金、鐵、銅、マンガン等各種の鑛物が採掘されてゐるが、特に金の採掘熱が盛んで、一時は多數の採金會社が設立され、最近では年産一億ペソ即ち約二億圓に上つてゐる。又林産も豊富で特にミンダナオ方面には廣大な林區があり、有用な木材を産出してゐる。此の外近海は海産物にも恵まれて居り、凡ての物資、物産が揃つて居ると云ふ事が出来る。

次に貿易事情を見ると、最近比島の貿易額は輸出入合計五億ペソ見當で、三年程前までは年々數千萬ペソの出超を續けてゐたが、其後三千萬ペソ見當の入超に逆轉してゐる。そしてこの海外貿易の殆んど全部が對米貿易であること云つても過言ではない。即ち輸出入とも、其の七十乃至八十パーセントを米國に依存して居り、最近其傾向が益々著しくなつてゐる。我國は次位に在るが其の比率は問題にならない。其の理由は米比間が相互的に無關稅の自由貿易であるのに對し、其の他の國よりの輸入には相當高率の關稅を課して居り、殊に我國に對しては、パリテ・アクトに依り貨幣價值の下落率に對しても課稅してゐるの

で、例へば雜貨に對する關稅は二割五分なるも、實際上五割以上の課稅をされてゐる事になり、これが大きな障礙となつてゐる。一九三七年は日比貿易が最高潮に上つた年であつて、比島への輸入三千二百萬ペソ、輸出二千萬ペソであつたが、爾來漸減し、昨年上半年期の情勢では特に輸入に於いて激減し、日比貿易は我國に取つて入超に逆轉して來た。これに反し米國からの輸入は第二次歐洲戰爭に基く歐洲商品の輸入杜絶をカバーして、前年同期の六千萬ペソから一億二千萬ペソと倍額に躍進してゐる。

私は今回六年振りに比島を見たのであるが、前に數回旅行した時と反對に、比島が非常に良くなつてゐて、一般に活氣が横溢してゐるのに驚いた。これは米國が比島から輸入する椰子油の消費稅を比島政府に返却してゐて、其の額は數年度分として昨年度までに二億ペソの巨額に上つて居るが、これが全部獨立後の經濟的の準備に使用する事に規定されて居り、五千萬ペソの國策開發會社(N, D, C)の設立をはじめとして、各種各様の事業が起され、且つ一般的公共事業に其殆んど全額を使つてゐる結果であること考へられる。比島は一億ペソ見當の豫算で國費を支辨して居り、通貨の流通額も一億八千萬比見當の小世帯であるから、この二億ペソの戻し金の經濟界に與へる活力は相當大きいものであらう。又

比島がこゝ、數年入超に逆轉したのも、輸出農産物價格の下落もあらうが、一面此の資金を以て各種の公共並に國策事業の必要資材を多額に輸入した結果であるを考へられる。尙こゝに注意すべきは比島に於てフラツグ・ローと云ふのが實施されてゐる事である。これは概説すると比島に於ける國家並びに公共事業に必要な物資の納入に當つて、外國人が外國品を納入する場合は米比人が米比産品を納入する場合よりも三割安くせねばならぬ規定であつて、外國品は全く納入不可能である。椰子油消費稅の戻し金の用途の規制によつて米國品賣込に對する米國の用意の程が窺はれる。これが又比島貿易に於ける對米貿易の比率の躍進した一理由でもあると見られる。

次に華僑の問題であるが、比島には約三十萬の華僑が居り主として商業に従事し、比島國內の配給網を握つてゐるが、彼等は依然として日貨排斥を繼續してゐて、一面に米國品を買付け販賣する外、磅爲替の取組み並に爲替相場の操作によつて低率輸入稅による輸入並に爲替上割安の上海、香港製品の取扱ひによつて有利の營業をしてゐるので、從來の日貨排斥の場合の如く日本品を顧みない。米國も亦、此機會を捉へて積極的に比島市場獨占を企圖してゐる様に見られる。比島の民度向上による上級品の需要に適應する品位のもの

を勉強して供給してゐる。我國が現下の國內事情もあつて積極的に動けないのは止むを得ぬとしても、かく米支兩國品に壓迫される情勢にあつて、比島在住の邦人小賣店までが、店頭に三割乃至四割に上る米國品を陳列せねばならぬと云ふ事は残念である。日本貿易振興會社等の實際的の適切なる活動を期待する次第である。

泰

國

面積は約五十一萬平方キロで我國面積の約七割七分に當り、人口は約千四百五十萬、泰人を主としてラオス人、マレー人及約二百五十萬の支那人種より成つてゐる。泰族はその昔支那から出た民族であるが、常に獨立國として立ち、前代アユチャ王朝時代の四百年間はビルマとの戰爭に明け暮れてゐたこと云ふてよろしく、其後の百年程はバンコックの王朝として今日に及んでゐる。久しく極端な君主專制政治下にあつたが、一九三二年革命の結果立憲君主制を採つてゐる。革命以來政府は泰人の泰國として名實共に完全なる獨立國の建設を目指して、國政の刷新、國力の涵養に懸命の努力を續けてゐる。この政府の方針に違つて官吏が至極眞面目に國政遂行に邁進してゐるのは尊敬に價する事であり、又一般國

民からも尊敬されてゐるのであるが、一般國民は無智文盲の者多く民度が極めて低いため、政府と國民、官吏と民衆の間が遊離してゐる感がある。革命以來政府は教育を以て、新泰國々家再建の基本要素として、その振興に多大の努力を拂つてゐる。更に又ドイツの方式に則り、青少年少女に團體訓練を施して國民意識の注入、國家觀念の昂揚を企圖し、早くも良い成績を擧げてゐる。街頭に見る學生の面貌、態度、服裝等此の親にして此の子があるかと思はるる程引締つてゐて、立派なインテリ相に仕上げられてゐるのは敬服の外なく、又教育の力の偉大さを痛感した次第である。五年十年後これ等の學生が社會に立つ時は、泰國は見違へる様によい國になるであらう。

産業物産は泰國中部を貫流するメナム河流域の大平野を主として、年約三百八十萬噸の米を産出する。米は全く泰國を標徴する代表的物産であり、平年約百七十萬乃至百八十萬噸、價格約一億バーツ即ち一億五千萬圓見當を輸出し、貿易に於いても最も重要な部分を占めてゐる。次に半島の南部マレーとの國境附近にゴム園があり、國際協定により輸出量を規制されてゐるが、最近年産四萬五千噸乃至五萬噸に上つてゐる。鑛産物は半島地方に錫を産出するが、主として英國系資本に依り採取せられ、其量は未だマレーや蘭印に比

すべくもない。林産物は北部の山地から良質のチーク材を多量に産出する。尙畜産としては水牛、黄牛總數千數百萬頭であり、殆んど人口に匹敵する豊富さを持つてゐる。

外國貿易は最近輸出入合計大約三億五千萬バーツで七千萬バーツ見當の出超を示してゐる。其の内容は近來の數字では輸入は英國などの屬領からのものが五十パーセント以上、輸出は同じく七十乃至八十パーセントを占め、泰國貿易が如何に多く英國に依存してゐるかを示してゐる。日泰貿易は日本からの輸出約三千萬圓、輸入約五百萬圓程度を續け、我國に取り相當大きな出超の片貿易であつたが、今後は泰國物産を我國への必要物資として多額に輸入するであらうから、泰國外國貿易上に於ける日泰貿易の占める比率も様相を一變するであらう。

今日までも泰國は無二の親日國家と稱せられてゐたが、事實も果してその通りであつたらうか。泰國は國費年額一億バーツ、通貨の發行高二億二千萬バーツ見當で賄つてゐる國であるが、其の通貨の準備金中七千五百萬バーツを國內に持ち二千二百萬バーツは米國に、一億二千萬バーツは英國に預金されてゐる上に財政經濟上の事は英國人顧問の指導の下に運営されて來て居り、更に前述の通り貿易關係に於いても全く英國に依存してゐる状態に

あるので、英國との間には離すべからざる太い絆が繋がれてあり、萬事親英的ならざるを得ない譯で、政府部内でも親英派の方が勢力を占めてゐると云ふ話であつた。尙一般民衆は此の様な事には無關心であり、國民中堅層を成し、經濟上には勿論政治上にも根強い力を持つ支那人並に同系泰國人二百五十萬人が今日尙根強い日貨排斥を續けてゐる等の態度から見ても、泰國は事實上親英國家であつたといへる。只最近成立した泰・佛印國境紛争問題に關する我國の誠意と努力による調停は泰國人の深く感謝する所となつたであらうし、從來とも親日的であつた二・三の有力者の勢力の増大と共に、今後は親日傾向に轉換すべき上に、貿易關係に於いても急激に相互の依存度を高めて行く必然の結果として、政治、經濟兩方面から眞に親日國家となつて來るであらう。かくして大東亞共榮圈の一翼として新興泰國が加はり、共榮の道を進む事となるだらう事は相互の爲に誠に慶賀すべき事と思ふ。

佛 印

佛印は面積七十四萬平方キロで、我國の全面積よりも稍大きく、人口は二千三百萬人で

内八割が安南人だと云はれてゐる。佛國が安南の經營に手を染めたのは一世紀半餘り前の事であつて、完全に領有したのは一八八七年今より五十年前の事である。當初佛國の領有したのは海岸線に沿つた細長い地區のみであつたが、一八六七年以來一九〇七年迄の間に五回にわたり事を構へて、約四十七萬平方キロの尨大なる地域を泰國より奪取し現在に至つたのであるが、過般の泰國との紛争の結果、十餘萬平方キロの土地を泰國に還附する事となつてゐる。現在統治上の制度はトンキン、アンナン、ラオス及カムボヂヤの四つを保護領とし、コーチンチャイナを直轄植民地としてゐるが、實質上には佛國の領土たるに異りはない。國費は近頃五、六千萬ピアスター、通貨の發行高は一億二千萬ピアスター見當となつてゐる。

元來佛國の佛印に對する植民政策は極端なる同化政策を行ひ、佛本國のみの爲の藥籠として自己の必要にのみこれを利用し、貿易上に、資源の開發上に、外國人・外國品並に外國資本の侵入を許さざる制度を採り、土民の福利の如きも佛本國の利益と併行せざれば、これを顧慮せず無關心のまゝに過ごして來て居る。この點は米國の比島統治方針とは全く其の趣きを異にしてゐる。由來佛國は貯蓄の國と云はれてゐるだけに、産業には極めて消極

的なる爲め、佛印に於ける産業も資源の開発も未開發のまゝ、残されたるもの多く、豊饒なる土地殊にメコン河流域の沃野千里に亘るデルタ地帯の拓植、並に豊富なるべく推定せらるゝ、地下資源の開発には大きな期待が持てると思ふ。一見した所でも隣りの泰國がひからびた感じがするに反對に佛印は何となくうるほひがある様に感じられる。

産業と物産。物産の主なるものは農産物であつて、大宗は泰國と同じく米である。南部メコン河流域及北方東京地方を主として年産六、七百萬噸に上り、この内南部産のサイゴン米は年々百五十萬乃至百七十萬噸輸出せられ、一昨年度の輸出額は約一億四千萬ピアスター即ち一億四千萬圓に達してゐる。次はゴムであるが、これは泰國の土人園と異り主としてエステートの生産にかゝり、今丁度收穫旺盛期に入りかけた林が多いと云ふ事である。統計に現はれた年産六萬五千噸よりも事實は遙かに多く八萬噸近く産出されて居るだらうと云はれて居る。主として米國、佛本國へ輸出され、一昨年度の輸出高は六萬九千噸約一億ピアスターに上つてゐる。次に玉蜀黍は年産六十萬噸、一昨年度の輸出額は三千四百萬ピアスターであつた。尙未だ極少量の見本的の程度に過ぎないが、棉花及極良質の麻黄及苧麻が産出する。將來注目すべき物産であると思ふ。鑛産物は北部のトンキン州を主

産地として相當豊富である。第一位は石炭で、有名なるホンゲイの無煙炭は年産二百五十萬噸と稱せられてゐる。次に鐵鑛も相當豊富だと稱せられてゐる。尙雲南との國境老開附近の磷鑛石及びテールブランド、ツौरラン、カムラン灣附近の硅砂は其量の豊富なること、良質なもので有名である。林産は北部ラオス地方にチーク其他の木材を産出するが運搬上に多大の不利があると思ふ。

外國貿易。最近の貿易額は輸出入合計五億乃至六億ピアスター近くであつて、年々一億ピアスター見當の出超を示して居る。貿易の國別内容は勿論佛國に依存する處多く、總額に對する佛國及佛領との貿易額の比率は輸入に於いて五十七パーセント、輸出に於いて五十三パーセント見當となつてゐる。此の比率の殆んど大部分は佛本國の分であるが、佛國が佛印を獨占市場とする排他主義を取つてゐたにしては割合に少い様に思はれる。其の他は支那、香港、新嘉坡方面との分散的貿易となつてゐる。日本との貿易は一昨年度は日本からの輸出二百萬圓、輸入二千五百萬圓見當となり、其の比率は問題にならぬ程度である。日本からの輸出が激減した爲に、我國に取り二千餘萬圓の片貿易となつてゐる。

併し今度の通商協定の成立により、我國は確實に必需物資を多量に買ひ付ける事になり

自然輸出も大飛躍を爲し、佛印貿易に於ける日、佛印貿易の比率は劃期的面目を一變すべきは明瞭である。かくして昨年までは殆んど無關係の地位にあつた佛印が突如として大東亞經濟圏の一環に加はり、密接且つ親善なる關係に於いて共榮の實を擧ぐる事となつたのは誠に慶賀の至りである。

雜

俎

一 比島、泰國、佛印の比較

此の三國は三様で甚だ興味がある。比島人は金持の腕白息子が小遣錢まで充分に貰つて氣隨氣儘に育てられてゐる様な所がある。東洋唯一の基督教國であつて、多分に米國人氣風の感化を受け東洋人らしく無い所がある。浮つ調子で働く事を好まない。此の三國の内、文化の度は一番高い。無論全幅的に米國依存の政策を取つてゐるが、近頃隣強の我國に多大の關心を寄せて居るものもあるこの事である。佛印人は因業な親爺を持った子供の様であるが、長い間の嚴重な仕付けに依つて従順且つ勤勉に育つてゐて、實に可愛い、國民の様に見受けられる。全國の邊陲にまで二萬にも上る基督教の教會がある相だが、安南人

の信仰心は左程でもなく、佛教的偶像崇拜者を多く見受ける。日本人に對して充分の好意と親しみを寄せてゐる様に思はれる。泰國政府は獨立獨歩生活の困難と闘ひつゝ、苦學を續けてゐる青年を感ぜさせられる、有名な小乗佛教の信奉國で全國が立派な寺院で埋つてゐる様に見える。一般民衆は生活向上に消極的で働く事を好まぬらしいが、何處かに負けじ魂が潜んでゐる様で稍氣概が強い。今泰國の惱みの一つは人口の寡少な事である。生めよ殖やせよをやつてゐるが、幼兒の死亡率が高くて困つてゐるこの事である。一般勞働賃は比島八十仙、泰國七十サタン、佛印は男四十仙、女二十五仙見當である。少々不合理だが、これを邦貨に換算すると比島一圓六十錢、泰國一圓五錢、佛印四十錢となり、佛印が著しく安い。勤勉で勞働力の多い結果であらうが、それだけ購買力も少ない。今後事業の發展に連れて勞働賃も自然的に昂騰するであらうが、これから我國が着手しようとする事業經營と産業開發には好條件を提供してゐると云へる。在留邦人は比島には二萬五千人も居り、内一萬八千人はダバオ附近に居住し、主としてマニラ麻の栽培に従事してゐて心強い頼もしさを感じる。其他はマニラをはじめ各都市に在住し、貿易、商業、工業各方面の仕事に固い根柢を持つてゐる。泰國では貿易商が一番多く、最近急速に増加して千餘名に上つて

ひる。佛印は時節柄か渡航を嚴重に制限して居るので、一般在住者はまだ五、六百人に過ぎぬ様であつた。

二、上海製品の問題

今日本の輸出品特に日用雜貨に對する強敵は上海製品である。上海製品は法幣暴落の波に乗つて泰國及び比島の市場に決河の勢で流入してゐる。佛印の西貢市場にも相當入荷してゐる。泰國の爲替を例に取つて見ると、百バーツは日本の百五十圓、法幣の約六百六十弗であつた。即ち弗は圓の四分の一以下である。上海の物價は隨分昂騰してゐるが假りに上海の原價が日本の二倍であつても、バーツでは半値以下、三倍であつても四分の三以下である。而も上海品は大部分委託で積送されてゐるから、販賣上の操作、並に送金に對する爲替の操作が有利に且つ巧みに行はれてゐる。南洋の華僑は引續き根強い日貨排斥をやつて居り、而も一面に安い上海品を取り扱つて、有利な營業をしてゐる、彼等に取つては當に一石二鳥の獲物である。因に現在上海品の進出は南洋方面のみでは無く、遠くアメリカ市場にも及んでゐる。現在上海には難民が多く、食はせてやるだけで働く者がいくらでも居り、勞働賃が安い上に猶太人の技術供與と支那人の換物人氣に作用された工場經營熱

が勃興し、各種の雜貨製造工場が無數にあり、メリヤス工場の如きは驚くべき立派な工場が出来てゐるこの事である。これ等の製品は各地で好販路を得れば得る程工場の擴張品質の向上に拍車をかける結果、現に品質も今の日本品以上の標準となつてゐるものが多い。そして値段は二割乃至三割位は安い。こんな状態が一、二年も續けば日本品は恐らく各市場から閉め出しを喰つてしまふだらう。寒心の至りである。これに對する處置は上海の租界と通貨の問題が解決せねば生産と輸出方面では手のつけ様がなく、通商協定の相手國との間に數量割當てか上海品の輸入制限又は禁止の協定をする外、途がない様に思はれる。

三、卸商、及小賣商の問題

比島には既述の通り四百五十軒に上る邦人卸小賣商がありマニラはじめ、各地方都市に於いても何れもバザール式の立派な店舗を構へ軒を並べて堂々と經營し、日本商品の販路擴張に努力して呉れてゐるのは誠に心強い。比島では地方都市に尙ほ數十軒の小賣店を増設する餘地があるこの事である。現在各店とも人手不足で困つてゐる状態だが、今の處比島への渡航は比島政府によつて嚴重に制限されてゐるので、何とも致し方が無い。泰國は日本に取つて殘されたる唯一の自由市場として、輸入業者の渡航する者頓に激増してゐるが

卸、小賣商はまだ數ふるに足らぬ。其の規模も華商と比べものにならぬ程小さい。現在華商の日貨排斥をやつてゐるので、日本商の配給網は少數の印度人に牛耳られてゐるのは心細くもあり、且つ残念である。一日も早く邦人の卸小賣商を設置して、躍進を豫想せらるゝ邦品の配給網を確立して置く必要を認める。只泰國では文字と言葉が甚だ難解であり、且つバンコック以外にはこれといふ都市が無いので、商賣の單位が小さく全面的に進出するのは仲々困難で、餘程強い覺悟を必要とする。佛印では日本の高級陶器類を販賣してゐる邦人小賣商が數軒あるのみである。當國では今後の協定により、直ぐに躍進的に輸入せらるゝ多量の日本品に對し、充分なる配給網を設置する事は喫緊事である。佛印には三十萬程の華僑があるが、主としてサイゴン附近に居住してゐる。今までは日本品が輸入されてゐぬから、日貨排斥もない。安南人は手先きが器用であつて、ハノイ附近では家内工業的に各種の日用雜貨を製造し市場に出してゐるが、其の小賣も殆ど全部安南人特に婦女の手で販賣されてゐる。邦人が小賣市場に進出するに當つては、彼等の生活を顧慮して適當の方法を撰び、手加減を加へる事が必要であると思ふ。只何れの場合にも一定の計畫と統制の下に秩序的、系統的に實行する事が最も肝要である。この事は日本の必要物資特に雜品

の買付集荷に際しても採用せらるべきである。尙ほ佛印、泰國等我國との貿易が飛躍的に増加し且つ計畫的に實行せらるゝ地方に對しては公的の強い資格を持ち且つ貿易實務に通曉した有力な人が現地に駐在し本邦公館と在住邦商との間に介在して、邦商を指導し邦人の機關を内地統制機構の協助機關たらしめるよう計畫の樹立實行に當り實際的の指導をする事が必要である。尙ほ又此の重要な南洋貿易の計畫遂行の爲めには邦人商社としても特に一流の人物を配置して國家の爲めに盡力していただき度いと思ふ。

412
265

昭和十六年六月十三日 印刷
昭和十六年六月十六日 發行

【非賣品】

東京市麴町區九ノ内一ノ二

財團 法人 日本貿易振興協會

內 藤 保 廣

大阪市西區土佐堀通四ノ五
光 川 勝 治 郎

大阪市西區土佐堀通四ノ五

株式 會社 三 有 社

東京市麴町區九ノ内一ノ二

發行所 財團 法人 日本貿易振興協會

終